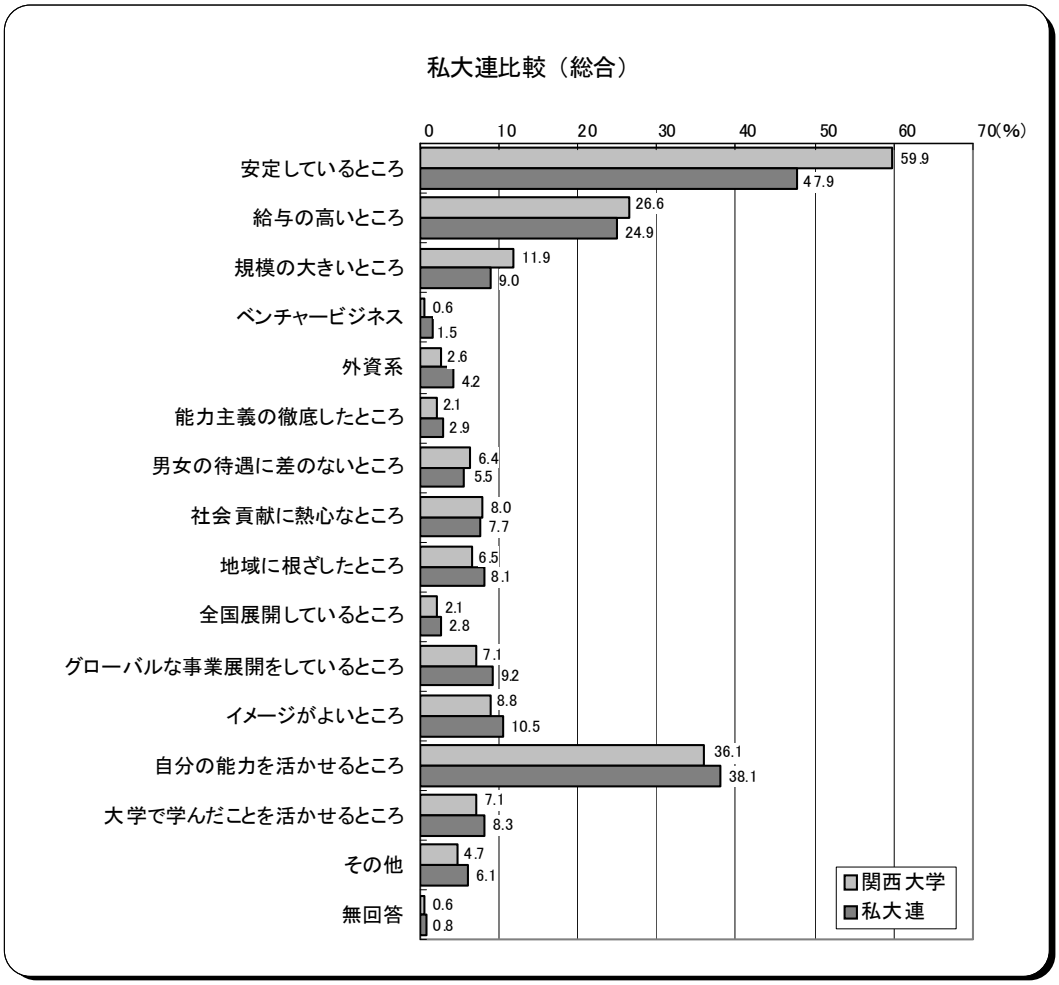
民間企業・団体への就職

問42　問41で、「２民間企業・団体」に回答した方のみにうかがいます。どのような民間企業・団体に就職したいと思いますか。２つまで選んでください。



就職したい第１位は「安定しているところ」

問41において「民間企業・団体」への就職を希望する学生に、具体的にどのような民間企業・団体に就職したいかを聞いてみたところ、本学、全国ともに「安定しているところ」が第1位で、本学では全国平均を12.0ポイントも上回る59.9％であった。第2位は「自分の能力を生かせるところ」で36.1％、第3位が「給与の高いところ」で26.6％となっている。

前回調査（平成14年度）をみると、今回第1位であった「安定しているところ」が47.9％と今回よりも12ポイント下回っており、今回第2位の「自分の能力を生かせるところ」は、52.3％と今回よりも16.2ポイント上回っている状況である。少し景気が上向き就職状況も好転しつつある中、「就職氷河期」と比較してのこの逆転現象には少し疑問が残る。

2005年くらいを境に、団塊の世代が定年を迎えることやフリーターやニートの増加といった諸要件も相俟って「売り手市場」という言葉が聞かれるようになった。しかし、その言葉だけが先行してしまい「なんとかなるだろう」という甘い気持ちで就職戦線に臨む学生も少なくないことから、苦戦を強いられてしまうなど、依然、「氷河期」から脱したとは言い難いのが現状であろう。